

「事実を伝えて」

松本河野さんが講演

1994年に長野県松本市で発生した松本サリン事件では「農薬の調査ミスをした」として容疑者として河野さん(一記者)が起訴された。河野さんは「記者の経験も働いて、『あの男が犯人』という報道の方向性が決まったのでは」と振り返る。

事件から10日後、「記事を見て驚いた」と河野さん。知らぬ間にどんどん報道され、その中身はどの社も同じ。記者の取材の情報が警察だけに集中していることが問題。

住宅街で毒ガスのサリンが発散され死者8人、負傷者600人以上を出した松本サリン事件。当時、薬品関連会社に勤めていた河野さんは、警察の家宅捜索で農薬などが



事件発生当時の冤罪被害者の状況などを語る河野義行さん(21日、東京都文京区)

「記事の1行にして1人の人間、会社がつぶれることがある。マスコミは読者に事実を伝え、誤報の場合には訂正記事や続報を世に広めること。河野さんは再び冤罪被害に苦しめられた。

「記事の1行にして1人の人間、会社がつぶれることがある。マスコミは読者に事実を伝え、誤報の場合には訂正記事や続報を世に広めること。河野さんは再び冤罪被害に苦しめられた。

「記事の1行にして1人の人間、会社がつぶれることがある。マスコミは読者に事実を伝え、誤報の場合には訂正記事や続報を世に広めること。河野さんは再び冤罪被害に苦しめられた。

「記事の1行にして1人の人間、会社がつぶれることがある。マスコミは読者に事実を伝え、誤報の場合には訂正記事や続報を世に広めること。河野さんは再び冤罪被害に苦しめられた。

新編武蔵風土記稿

「新編武蔵風土記稿」を読む「出版

埼玉県全域などを含む地域で構成されていた江戸時代の武蔵国の地誌「新編武蔵風土記稿」を一般向けに解説した「新編武蔵風土記稿」を、さきたま出版会(さきたま市)が刊行した。主に地域史研究の資料として活用されていた「新編武蔵風土記稿」を、一般の人たちに知ってもらい、地域を見直す資料として活用してもらおうと刊行された。(佐藤達哉)



編集

武蔵国は埼玉県、東京都の大部分と横浜、川崎市の一部を含んだ地域。「新編」

つて行政資料として使用されることも、青山村(熊谷市)の豪農・根岸武香が中心となって民間用に刊行された。

ニュースクリップ

◆荒川に男性の遺体(川口) 21日午前4時35分ごろ、川口市舟戸町の荒川で、男性がうつぶせの状態で見つかった。男性は死亡していた。川口署によると、男性は30~60歳ぐらいで身長約165センチ。黒色Tシャツに茶色の長ズボン、白色の運動靴を着用していた。目立った外傷はない。同署は事件性の有無を含め、男性の死因と身元を調べている。

◆バイクで転倒、高校生死亡(所沢) 21日午前2時半ごろ、所沢市松が丘1丁目の市道で、東京都練馬区、私立高校3年の男子生徒(18)のバイクが道路左側の縁石と電柱に衝突。男子生徒は転倒してバイクごと滑走し、搬送先の病院で死亡が確認された。所沢署によると、男子生徒は同じ高校に通う男子高校生と2人で現場付近を走行中、何らかの原因で衝突し、転倒したという。事故の音を聞いた近隣住民が110番した。同署で詳しい事故原因を調べている。

◆「百日紅」に審査員賞 仏アヌシー映画祭【パリ共同】フランス東部アヌシーで20日まで開催されていたアヌシー国際アニメーション映画祭で、日本の原恵一監督の「百日紅(さるすべり) Miss HOKUSAI」が長編部門の審査員賞を受賞した。「百日紅」は江戸俗文化研究家の故郷浦日向子さんの連作短編漫画が原作で、江戸時代の浮世絵師・葛飾北斎の娘、お染の恋と画業を情緒豊かに描いた作品。日本では5月9日から公開中。

◆大気不安定で激しい雨 山形新幹線が運休、落雷も 東日本や西日本の広い範囲で21日、大気の状態が非常に不安定となり、局地的に激しい雨が降った。気象庁は急な雷雨や突風、ひょうなどに注意を呼び掛けた。気象庁によると、列島の上空には強い寒気が流れ込み、各地で雷雲が発達した。石川県白山市では同日午後、1時間に62.5mmの雨が降り、観測史上最多を記録した。JR東日本によると、午後3時15分ごろ、山形新幹線の雨量計が規制値を超え、山形新幹線は一時運休を見合わせ、東京-山形間などで運休・区間運休した。

医学部生に奨学金 県が候補者を募集

7月から 県は、本県出身で県外の大医学部に入学を希望している人に奨学金を貸与する「県

同署によると、男性に目立った外傷もなく、痛みや体調不良も訴えていなかった。署員は男性を15~20分置きに見回りに行っていたという。

江田正之副署長は「男性がお亡くなりになったことは残念であり心から哀悼をお祈りします。保護は適切に行われていたと考えております」とコメントした。

医師育成奨学金の候補者を 7月7日から募集

7月7日から募集。県の将来の医療を担う医学生を支援するために、医師不足の解消につなげる狙い。

卒業後、医師の少ない県内20市町村の公的医療機関や県内の産科、小児科、救命救急センターで貸与期間の1~5倍の期間勤務すれば、奨学金の返還を免除する。

対象は、2016年度に県外の大学医学部に入学を希望

埼玉S級グルメ 認定店舗を募集

埼玉の「食」の魅力を発信し観光振興を図ることに、県は埼玉ならではの料理「埼玉S級グルメ」の認定店舗を募集している。S級グルメをPRし認知度を高めることで、県外からの誘客を促進する狙い。

S級グルメは、県の食材と伝統にこだわりの料理人が工夫

高年齢に伴い亡くなる人の数が増える中、自宅や施設で穏やかな最期を迎えられるよう、横浜市の在宅医らが「みどり」援助士養成へ在宅医らが協会を設立

高年齢に伴い亡くなる人の数が増える中、自宅や施設で穏やかな最期を迎えられるよう、横浜市の在宅医らが「みどり」援助士養成へ在宅医らが協会を設立

約1500人を在宅でみどった経験を持つ「めぐみ在宅クリニック」(横浜市)の小沢竹後院長が中心となり、7月から医療や介護従事者向けに2日間の養成講座を開く。初回の講座は都内で開催予定。修了後、実際に患者らに対応し、レポートを提出すれば「エンドオブライフ・ケア援助士」として認定する。

2025年には年間死者数が現在よりも約30万人多い約160万人に達するとみられ、国は

個人代表選抜戦と同時に、51人が参加して段級認定大会も行われた。

個人代表選抜戦と同時に、51人が参加して段級認定大会も行われた。

結果は次の通り。(敬称略) 【男子個人戦】①津田裕生

【女子個人戦】①津田裕生

高年齢に伴い亡くなる人の数が増える中、自宅や施設で穏やかな最期を迎えられるよう、横浜市の在宅医らが「みどり」援助士養成へ在宅医らが協会を設立

高年齢に伴い亡くなる人の数が増える中、自宅や施設で穏やかな最期を迎えられるよう、横浜市の在宅医らが「みどり」援助士養成へ在宅医らが協会を設立

約1500人を在宅でみどった経験を持つ「めぐみ在宅クリニック」(横浜市)の小沢竹後院長が中心となり、7月から医療や介護従事者向けに2日間の養成講座を開く。初回の講座は都内で開催予定。修了後、実際に患者らに対応し、レポートを提出すれば「エンドオブライフ・ケア援助士」として認定する。

2025年には年間死者数が現在よりも約30万人多い約160万人に達するとみられ、国は

高橋 齊木さん 女子V3 男子は津田君が連覇

第39回全国高校囲碁選手権 男子準優勝の山本唯期君(松山3年)を含めた3人が県代表

山本唯期君(松山3年)を含めた3人が県代表

山本唯期君(松山3年)を含めた3人が県代表

山本唯期君(松山3年)を含めた3人が県代表

山本唯期君(松山3年)を含めた3人が県代表

山本唯期君(松山3年)を含めた3人が県代表

創業29年 高額の買取

あなたの街の病・医院ガイド

しづや眼科クリニック

教えて! ドクター Q&A